

B-3  
座学

## リズムを通して楽しむソルフェージュ

10月17日・10月24日・10月31日  
火曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス  
C300 教室

全3回 9,900円 (税込)

※ 最低開講人員10名

申込締切  
9月27日(水)

「メロディー・リズム・ハーモニー」が音楽の3大要素だとよく言われます。そしてその中でも、リズムは最も強く音楽のキャラクターを決める力を持ち、聴く人に与える気分や感情にも非常に大きな影響を与える要素です。また、リズムの特徴は音楽作品の作られる時代によっても大きく変化します。今回の講座では、手で打つ・読む・歌う等の方法で、色々なリズムの解釈や表現について学ぶことを通じて、音楽をより深く体験することを目的とします。受講者は各自、「音楽史からみたリズム・スタディ」(全音楽譜出版社、税込1,430円)をご用意ください。



### 荒尾 岳見 先生

東京大学文学部卒業、東京藝術大学大学院作曲専攻修了。声楽・器楽のアンサンブルピアニストとして多くの公演に参加しつつ、ソルフェージュの指導にあたっている。現在東京音楽大学准教授、東京藝術大学非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会理事。

共著：「クレ・スタディ」(全音楽譜出版社)「新・名曲視唱曲集」(音楽之友社)他

CD：「和谷泰扶 ハーモニカトリオ/マタドール」「同/曼珠沙華幻想」(ピアノ・編曲)(ナミ・レコード) 他

A-3  
実技

## Finaleで楽譜制作～基本講座～

10月21日・11月4日・11月11日  
土曜 13:30～15:00

中目黒・代官山キャンパス  
C411 PC教室

全3回 14,850円 (税込)

定員 12名  
※ 最低開講人員7名

申込締切  
10月2日(月)

楽譜制作ソフトのスタンダード「Finale」の基本講座です。コンピューターでの楽譜制作について、お手本となる楽譜とFinaleで解説します。初級や入門ではなく基本講座ですので、より一層Finaleを使いこなせるようになります。Finaleユーザーを想定していますが、Finale初体験の方は、最初から基本を把握することで一気に習得できるでしょう。(Finale初体験でも、最低限のコンピューター操作スキルをお持ちであれば問題なく受講いただけます。)

以下について、なんとなくではなく、機能を理解した上で制作することで思い通りに楽譜制作することを目指し、また楽譜作成だけでなく音楽的活動での活用まで視野を広げます。



音符入力    記号入力と記号作成    レイアウト    最終出力    楽譜づくり以外の機能

※教室のFinaleを実際に操作する実習形式です。



### 近藤 隆史 先生

東京音楽大学非常勤講師、文教大学情報学部非常勤講師。東京音楽大学でトロンボーンを学び、室内楽やミュージカル、ダンス・バンド、ジャズ、ロックの演奏活動や音楽制作業務(ソフトやハードの企画・開発・サポート)に携わる。著書に『Studio Oneガイドブック』、『Band-in-a-Box入門ガイド』、『Finale実用全ガイドシリーズ(協力)』がある。Finale公式セミナー講師。Finale国内販売代理店スーパーアドバイザー。

B-4  
座学

## オペラに親しもう

11月17日・11月24日・12月1日  
金曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス  
C300 教室

全3回 9,900円 (税込)

※ 最低開講人員10名

申込締切  
10月30日(月)

ヴェルディの《椿姫》「乾杯の歌」やプッチーニの《蝶々夫人》「ある晴れた日に」は聞いたことがあるけれど、全曲聴くのは長くて大変そうです。歌劇と訳されているオペラですが、一体いつ頃からヨーロッパに出現したのでしょうか。この講座はオペラを楽しみたいけれど、何となく敷居が高いと感じておられる方への3回の講座です。ポップ・ステップ・ジャンプで一緒にオペラに近づいてみましょう。



### 坂崎 則子 先生

東京藝術大学楽理科、同大学院音楽研究科修了。現在、東京音楽大学教授、付属図書館長。ルネサンス・バロックのリュート音楽研究。本学学部、大学院では西洋音楽史、オペラ史、文献研究、学生の論文指導などを担当。



# 社会人の 学びの場

東京音楽大学

TCM

2023年度 東京音楽大学  
秋学期 社会人向け 公開講座

2023年度、音楽に親しみ、技量を高め、  
あらたな自分を見つめる機会として、  
東京音楽大学において「社会人の学びの場」を始めます。

A-1 実技. ガレージバンドで作曲を!

A-2 実技. 即興的ピアノ演奏のススメ  
～“和音”をめぐる鍵盤演奏の楽しみ～

B-1 座学. 古楽四方山話1～3

B-2 座学. 分析によって得られる解釈からより深い表現へ  
「古典派の形式美と創造性」

B-3 座学. リズムを通して楽しむソルフェージュ

A-3 実技. Finaleで楽譜制作～基本講座～

B-4 座学. オペラに親しもう



## A-1 実技 ガレージバンドで作曲を！

9月16日・9月30日・10月7日  
土曜 13:30～15:00

中目黒・代官山キャンパス  
C411 PC教室

全3回 14,850円 (税込)

定員 12名  
※最低開講人員7名

申込締切  
8月28日(月)

世の中に溢れている音楽の多くは、「打ち込み」で作られた音楽です。生楽器による演奏・録音ももちろん重要なことですが、現在、打ち込みで作る音楽のために、様々な方法が模索されています。この講座では、Apple社のiPhone、iPadなどにプリインストールされている「ガレージバンド」を足掛かりとして、現在の「音楽の作り方」を知り、自作曲を作り、「自分オリジナルの音楽」を具現化することを試みます。



土屋 真仁 先生

東京音楽大学、作曲／映画・放送音楽コース（現：ミュージック・メディアコース）卒業。東京音楽大学専任講師。  
作曲家グループ「ベアグラウンド」のメンバーとして2016年4月より放送が開始されたNHK「おかあさんといっしょ」内の人形劇「ガラピコぷ〜」オープニングテーマ、および劇伴音楽などを6年間担当。  
「2～5歳児の簡単器楽合奏曲集」（ナツメ社）の編纂に、監修・編曲として参加。

## A-2 実技 即興的ピアノ演奏のススメ ～“和音”をめぐる鍵盤演奏の楽しみ～

10月7日・10月21日・11月11日  
土曜 16:00～17:30

中目黒・代官山キャンパス  
C402 キーボード教室

全3回 14,850円 (税込)

定員 17名  
※最低開講人員7名

申込締切  
9月19日(火)

本講座では、「楽譜がなくても即興的に鍵盤を自由に演奏できる」ことを目指し、伴奏付けや簡単な即興演奏を通して、鍵盤を和声的に弾きこなす感覚を養います。実演を交えてクラシック音楽における即興演奏の歴史を紐解きながら、和音の役割と重要性、その扱い方を解説していきます。実際にキーボードで様々な和声の配置を弾くことにより、響きの違いを指と耳で体感してみてください。メロディーへの伴奏付けでは、色々な音楽スタイルを表現するための多様な和音や伴奏形リズムなどの諸要素を体験し、バラエティーに富んだ伴奏付けを考えます。さらに、和音進行を軸とした即興演奏へと発展させていきます。“和音”を巧みに操る技によって、ピアノをより自由自在に弾ける楽しさを味わってみましょう。



渚 智佳 先生

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、東京藝術大学大学院修了。全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部、園田高弘賞ピアノコンクール等にて優勝。東京都交響楽団、チェコ・フィル八重奏団等と共演。全音ピアノ教則本CDでは「ソナタ・アルバム」「ツェルニー50番」始め20タイトルを超える録音を行なう。ヤマハ音楽振興会にてピアノ指導法講座や教材編纂・録音に携わる。演奏活動の傍ら作編曲も手掛け、R.シュトラウス「英雄の生涯」吹奏楽編曲版を出版。現在、東京音楽大学専任講師、ヤマハ音楽研究所研究員。

### お申し込みについて

- ・先着順で受け付けます。お申込みいただいた場合でも、すでに定員満了となっており、お断りする場合があります。なお、定員に満たない講座は開講しない場合もあります。
- ・受講料のお支払いについては、各講座の申込締切日以降にメールでご案内いたします。
- ・講座の内容、開催日時や教室番号は都合により変更となる場合があります。
- ・受講料お振込後、または講座途中のキャンセル、返金は致しかねます。
- ・お申込み後に受講受付連絡をメール配信します。お申込み内容をご確認ください。
- ・光熱費の高騰に伴い、PC、キーボードを使用する講座の受講料の見直しをさせて頂くこととなりました。



お申し込み先

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/29691.php>

お問い合わせ先

社会連携部事業課  
shakaijin2@tokyo-ondai.ac.jp

## B-1 座学 古楽四方山話1～3

10月13日・11月24日・12月8日  
金曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス  
C400 教室

全3回 9,900円 (税込)

※最低開講人員10名

申込締切  
9月25日(月)

『古楽』とは何か。何を指すのか、いつ頃始まったのか…。昨今一応の市民権を得たように思われる言葉はどういう意味で使われているか、その演奏はどう異なっているのか。古楽は今後どうなってゆくのか。資料の問題や楽器の話、録音等も交えながら3回に分けてお話しする。



鈴木 秀美 先生

チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、教育と活動は多岐にわたり、サントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。OLCの他国内外の楽団に指揮者及びソリストとして客演。神戸市室内管弦楽団音楽監督。山形交響楽団首席客演指揮者。日本ベートーヴェンクライス副代表理事。録音は多数に上る。著書に「『古楽器』よ、さらば!」、「ガット・カフェ」「無伴奏チェロ組曲」、「通奏低音弾きの言葉では」。東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師。

## B-2 座学 分析によって得られる解釈からより深い表現へ 「古典派の形式美と創造性」

10月16日・10月23日・10月30日  
月曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス  
C400 教室

全3回 9,900円 (税込)

※最低開講人員10名

申込締切  
9月27日(水)

ピアノ学習者が必ず取り組むモーツァルトとベートーヴェンの様々な形式の楽曲を分析し、古典派の作曲家たちの形式美に則ったバランス感覚とオリジナリティを発見します。モーツァルトのソナタおよびベートーヴェンの初期のソナタを弾いた事がある、または現在練習中である方を対象としますが絶対条件ではありません。下記分析予定の楽譜を用意して下さい。(ただし第1回の10月16日のみ楽譜は不要です)

モーツァルト ピアノソナタ ハ長調 K.545  
モーツァルト ロンド 二長調 K.485

ベートーヴェン ピアノソナタ第1番 へ短調 op.2-1 第1楽章  
ベートーヴェン ピアノソナタ第8番 八短調 op.13 「悲愴」



照屋 正樹 先生

東京藝術大学音楽学部及び同大学院音楽研究科卒業  
現在、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学および洗足学園音楽大学非常勤講師  
主要著書：「楽典～音楽の基礎から和声へ」（アルテスパブリッシング刊、共著）  
「フォルマシオン・ミュージカル教育法によるティーチングプラン」（東京藝術大学出版会刊）

### 講座開講場所

東京音楽大学  
中目黒・代官山キャンパス

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

MAP



JR「恵比寿駅」より徒歩14分  
東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩5分